

『神からの賜物』～あなたは持(つか)っていますか?～

【Iペテロ4：7～11】

日本人の国民性として世界に評価を受けていることとすれば、『助け合う』ことではないでしょうか?副題につけた“持”という言葉ですが、ただ持っているという意味ではありません。聖書が書かれた当時、“持つ=使う”と理解していました。タラントの喩え話(マタイ 25 章)にもありますが、持っているタラント(能力)は行使しないと取られてしまいます。昨今、人間関係が希薄になってきております。聖書によるならば、この賜物を持って、互いに愛し合うことが教えられています。最近、良く見聞します事に、“カリスマ〇〇”があります。私たちはこのカリスマという言葉在日常どのように使っているのでしょうか。一般的には人間が努力して得た能力が人より飛びぬけることで評価を得たり、成功者の照合であったり、その能力はほとんどの場合その人の利益の為に用いられているようです。しかし本来の意味は、主題となっております“賜ったもの”、すなわち賜物であります。カリスマとは神より賜ったもの、プレゼントであります。私達の身の回りにあるものから私達一人ひとりが持っている能力にいたるまで自分の力によって得られたものはほとんど無いのです。とくに私たちにはクリスチャンとなる前から、神からの賜物がたくさん与えられているのであります。最高に素晴らしい存在として、この世に生まれた私たちは、与えられた賜物の意味を知って用いることを通して自分のみならず多くの人々に良い影響を与えることができる存在です。自分に与えられたものに傲慢になったり、できることはこの位であると枠を狭めてみたり、限界を低くしていないでしょうか?自分に与えられている賜物をもっと理解し、又あなたの心のうちに沸き起こる良心に基づいて与えられたビジョンの達成の為にまだあなたが気付いていない神様からの賜物が無いかをしっかり確認する必要があります。神様からの賜物をしっかり用いるために『①あなたの賜物を知る』自分の個性に合わせて賜物が与えられております。それはオリジナルであります。他の人と同じものではありません。その賜物を知ってください。自分の考えで小さくしないで下さい。『②あなたの賜物を用いる』使わないとタラントの例えのように取られてしまいます。自分のために、自己満足のために使っても同じことが言えます。私たちはこの賜物を周りの方々ために用いて行きましょう。『③実を実感する』上記二つをしっかりと実行すればおのずと実を結びます。結果を早急に求めることはやめましょう。周りの方の祝福するために賜物を用い続けるならば、“いつれ”結果を受けます。私たちの使命は行って実を結ぶことあります。与え続ければ、必ず結果がついてきます。賜物を知り、用いていきましょう。